

■力率計⁽¹⁾

機種	定格 ⁽²⁾⁽³⁾	概略消費VA		附属品トランスデューサ
		電圧側	電流側	
単相	110V, 5A(1A) 220V, 5A(1A)	2VA	1VA	PT-62M-12 ⁽⁵⁾
三相 (平衡)	110V, 5A(1A) 220V, 5A(1A)	各相1VA 各相2VA	各相1VA	—
三相 (不平衡)	110V, 5A(1A) 220V, 5A(1A)	各相1VA 各相2VA	各相1VA	—
三相 4線 ⁽⁴⁾	110V, 5A(1A) 220V, 5A(1A)	各相1VA 各相2VA	各相1VA	PT-64M-34 ⁽⁵⁾

注⁽¹⁾ 標準目盛はLead0.5~1~Lag0.5です。三相3線平衡のみLead0~1~Lag0(有効測定範囲: Lead0.3~1~Lag0.3)も製作します。

三相平衡回路以外は周波数(50Hzまたは60Hz)をご指定ください。

⁽²⁾ 上記定格を超える場合は110V, 5A(1A)計器にそれぞれ計器用変圧器, 変流器を外付してご使用ください。
使用可能電圧範囲: 110Vは90~130V, 220Vは180~260V。

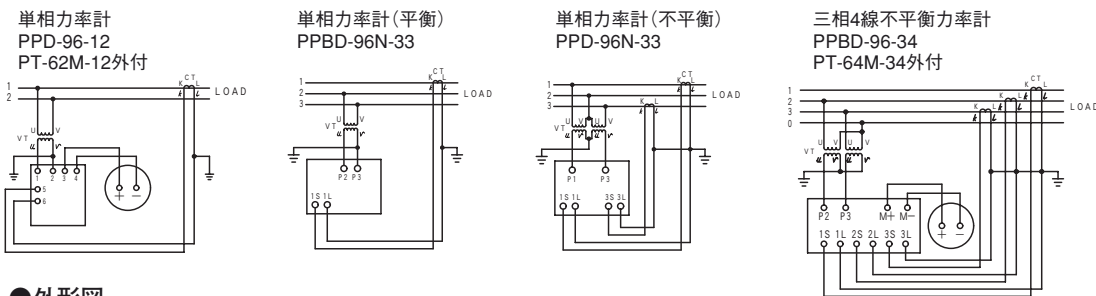
正相順でご使用ください。

⁽³⁾ 許容差保証は定格電流の1/5以上です。

⁽⁴⁾ 三相(不平衡), 三相4線(不平衡)は電圧平衡です。

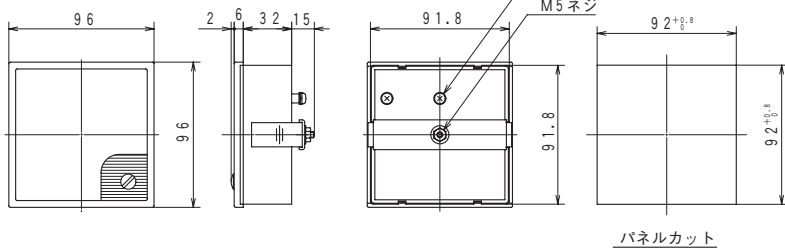
⁽⁵⁾ 附属トランスデューサ外形図は41ページをご覧ください。

▲結線図(相順をまちがえると誤差になります)

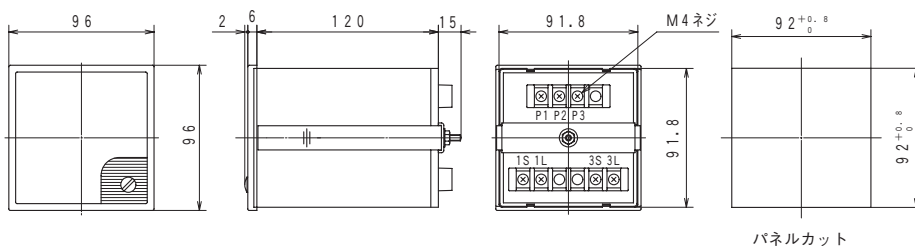


●外形図

PPD-96 トランスデューサ外形形
PAD-96



PPD-96N トランスデューサ内蔵形



端子カバーが必要な際はご指定下さい。

本器の端子カバー形名, 寸法, 必要数については111ページをご覧ください。附属品の端子カバーについては114ページをご覧ください。

●附属トランスデューサPT-62M-12, PT-64M-34の外形図は41ページをご覧ください。

■周波数計

定格電圧	測定範囲	概略消費VA	電圧変動範囲	附属品
110V ⁽²⁾	45~55Hz 55~65Hz 45~65Hz 350~450Hz ⁽¹⁾	1.7VA	90~130V	—
220V ⁽²⁾	45~55Hz 55~65Hz 45~65Hz 350~450Hz ⁽¹⁾	2.5VA	180~260V	—

注⁽¹⁾ 特殊周波数範囲の製品も製作します。(1000Hz迄)

⁽²⁾ 使用可能電圧範囲: 110Vは90~130V, 220Vは180~260V。

上記以外の定格電圧, 電圧変動範囲についても製作しますのでご相談ください。

■SCR制御波形用

SCR波形入力(ひずみ波形)用も製作します。

形名: PAD-96H□

▲結線図

